



平成26年 第168号  
5月号  
北里研究所病院だより



**特集 新任医師のご紹介** ..... P2~3

目次

リハビリテーション部門の取り組み	P1	退職医師紹介	P4
IBD市民公開講座レポート	P4	行事予定	P4
整形外科公開市民講座レポート	P4		

# リハビリテーション部門の取り組み



リハビリテーション技術科 技師長 重田 暁

## 1. 病棟リハビリテーションセンターの増設

当院のリハビリテーションは、平成11年の現病院棟開設当初は、理学療法のみでしたが、高齢化や早期リハビリテーション（以下、「リハビリ」と省略）の重要性が認識されるに従い、段階的に人員や設備の充実を図り、現在では作業療法や言語療法も含めた総合的なリハビリを展開しています。

平成25年2月には、入院患者さまへの利便性の向上や既存の3階リハビリセンターのスペースが不足してきたことから、9階病棟の一部を改修し、病棟リハビリセンターを新たに増設しました。これによって3階のリハビリセンターは、整形外科疾患や心疾患の入院患者さまと外来患者さま向けのスペース、新しい9階のリハビリセンターは、内科系疾患、外科系疾患の入院患者さま、言語療法および作業療法に対するスペースとして、より快適にご利用いただけるようになりました。

## 2. リハビリの目的と種類

リハビリは、病気やケガだけでなく、老化現象などさまざまな原因によって生じた身体の障害に対して、その障害が改善するように機能の向上を目的とした訓練を行い、残された能力を最大限に引き出して、よりよい生活を過ごすことができるよう支援することを目的としており、理学療法・作業療法・言語療法の3種類があります。

理学療法 (PT)：関節可動域の増大、筋力の増強、麻痺の回復などの機能回復のほかに、寝返り・起き上がり・歩行などの基本動作、スポーツ復帰に向けた練習などを通じて身体機能の向上や改善を図ります。

作業療法 (OT)：主に上肢（手）を用いる日常的な作業活動を通じて心身機能の回復を図り、日常生活動作の自立や獲得を目指します。また、ご自宅へ帰る前にトイレやお風呂の手すりの設置、介助用品導入の相談や環境調整、さらに趣味・娯楽の指導などを通じて認知症患者さまへの支援も行っています。

言語療法 (ST)：脳の障害に伴う構音障害や失語症等への言語障害に対する治療を行います。特に、当院では摂食・嚥下（食事や飲み込むこと）障害に対する治療に積極的に取り組んでおり、食物や水分の飲み込みの状況を確認しながら、医師、看護師、管理栄養士などと連携して嚥下造影検査を行っています。

## 3. 算定期限を超えた場合のリハビリの実施

リハビリは、医療保険制度では、患者さまの病気や疾患に応じて、①心大血管疾患、②運動器、③呼吸器、④脳血管の4つに大別し実施されます。それぞれ回数や期間の上限が設けられており、入院や手術日、リハビリ治療開始日などから数えて、その上限に達すると、リハビリを継続することは難しくなります。これは、8年前の診療報酬改定時に変更され、いわゆるリハビリ難民問題とされており、特に都心部の多くの病院で、外来通院でのリハビリが著しく減少する要因となりました。



▲9階リハビリテーション室

### (1) 介護保険を利用したサービスの継続

当院では、今年度よりこのリハビリ難民問題に対して、介護保険制度を利用した通所リハビリに対応し、継続して当院でリハビリを行える取り組みを開始しました。これにより、介護保険が適用される方で一定の条件を満たされた患者さまには、算定期限を超える場合でも、介護保険に切り替えてリハビリを継続することが可能となります。

### (2) 選定療養（自費）を利用したサービスの継続

介護保険の対象とならない患者さまには、算定期限を過ぎても選定療養（自費）でリハビリを継続することや隣接するメディカルフィットネスセンター（自費）での健康増進を図ることも可能です。

最後に私たちは皆さまの健康増進と病気の予防、より早期のご家庭や社会への復帰に向けて、限られた期限内でリハビリの目標が達成されるように、多職種が協力して患者さまに適したサービスを提供いたしますので、これからもご利用いただければ幸いです。

# 新任医師のご紹介

平成26年3月1日～4月1日に赴任した医師をご紹介します。  
これからもどうぞよろしくお願いいたします。



平成26年4月1日付

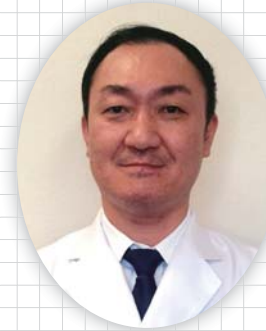
消化器外科 部長

石井 良幸 いしい よしゆき

専門分野：消化器、小腸・大腸、内視鏡手術

これまで慶應義塾大学医学部 一般・消化器外科の専任講師として、11年3ヵ月に渡り診療・研究・教育に従事してまいりました。診療においては、消化器外科とくに小腸・大腸・肛門病を専門とし、悪性腫瘍から炎症性腸疾患まで数多くの患者さまを診てまいりました。外科治療としては低侵襲手術である内視鏡下手術を積極的に導入し、近年では単孔式手術やReduced Port手術を行っています。今後もさらなる低侵襲性と整容性を追求した「患者さまに優しい手術」を提供できるよう頑張りたいと思います。研究では、大腸癌化学療法に感受性に関わるバイオマーカー研究に取り組み、シャペロン蛋白であるHeat Shock Protein 27が抗癌剤耐性に関わる因子であること、また抗上皮細胞増殖因子受容体抗体薬と抗体依存性細胞障害活性の関連などを明らかにしてきており、これらを臨床応用できるよう今後も研究を続けていきたいと考えています。また、未来の医療を担う研修医の先生方に外科医の魅力を伝えるとともに、半学半教の精神の基、品格を持った価値ある医師となれるよう指導したいと考えています。

最後に、北里大学北里研究所病院の発展に微力ながら貢献できるよう努めてまいりたいと存じますが、至らぬ事も数多くあろうかと思っておりますのでご指導・ご鞭撻の程、何卒よろしくお願いいたします。



平成26年4月1日付

腫瘍センター 副センター長

消化器内科 副部長

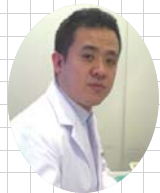
樋口 肇 ひぐち はじめ

専門分野：腫瘍内科 消化器内科

この度、内科・腫瘍センターへ勤務させていただくことになりました。前赴任先である慶應義塾大学病院では、消化器腫瘍を中心とした臨床腫瘍学、とくに膵胆道疾患の診療を行ってまいりました。これまでがん診療に従事させていただいてきた中で、臓器横断的なチーム医療体制の重要性を痛感しています。北里研究所病院は基本理念として「患者さま中心のチーム医療」を掲げる病院であり、一般に各診療科の“垣根”といわれる臓器単位の診療体系にとらわれずに診療が行える環境であります。がん診療にとってもまさに理想的環境であると感じており、腫瘍内科医としてチーム医療に貢献できるよう邁進してゆく所存であります。さらに、多施設共同研究あるいは独自の臨床研究にも力を入れてゆきたいと考えております。院内外の勉強会・研究会など意見交換の場を通じて、研究・教育の一層の充実を図ることが出来れば幸甚であります。また、これまでサブスペシャリティとして膵・胆道疾患診療に力を入れてまいりました。この分野においては、新たな内視鏡治療の積極的導入などに関しても努力してまいります。

皆さまには今後ともご指導、御鞭撻のほど、何卒よろしくお願いいたします。

平成26年3月1日付



婦人科 医員

櫻井 友義

さくらい ともよし

●専門分野●  
遺伝、内視鏡

平成26年4月1日付



腎臓内分代謝内科 医員

田畑 光久

たばた みつひさ

●専門分野●  
内科一般、糖尿病



麻酔科 医長

岡田 美砂

おかだ みさ

●専門分野●  
麻酔全般



外科 後期研修医

柳澤 貴子

やなぎさわ たかこ



外科 後期研修医

岡 英俊

おか ひでとし



総合内科 後期研修医

永久 太一

ながひさ たいち



整形外科 医員

畑 亮輔

はた りょうすけ

●専門分野●  
股関節、骨盤、小児整形



放射線画像診断・IVR科 医員

橘川 奈生

きつかわ なお

●専門分野●  
放射線科診断



整形外科 後期研修医

伊藤 恵梨

いとう えり



前期研修医

赤坂 茉莉

あかさか まり



前期研修医

高橋 純子

たかはし じゅんこ



皮膚科 医員

川崎 洋

かわさき ひろし

●専門分野●  
皮膚科一般、アトピー性皮膚炎



形成・美容外科 医員

小野 准平

おの じゅんぺい

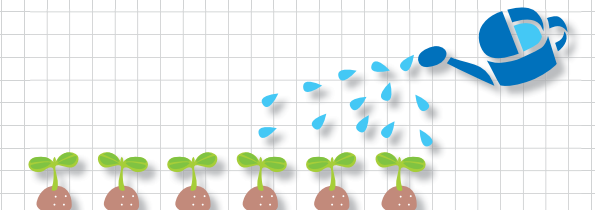
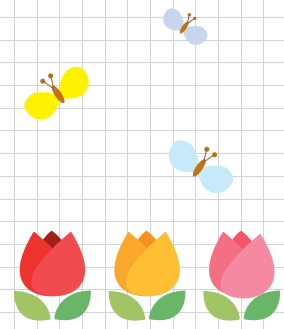
●専門分野●  
形成外科一般、美容外科



前期研修医

森川 淳

もりかわ じゅん



## IBD市民公開講座レポート

平成25年12月15日(日)に、浜離宮朝日ホールで炎症性腸疾患市民公開講座「正しく理解していますか? 炎症性腸疾患～潰瘍性大腸炎とクローン病～」を開催いたしました。

当院IBDセンター長日比紀文医師の基調講演の後、副センター長小林拓医師や患者会代表の方々などを交えてのパネルディスカッションを行い、会場からも多くの質問があり、活発な討論が交わされました。参加者は患者さまやそのご家族を中心に350名を越え、後日朝日新聞(2月2日付け)でも詳しく紹介されました。

当センターは、これからも炎症性腸疾患に関する正しい医療情報を届ける活動に取り組んで参ります。



## 整形外科公開市民講座レポート

平成26年3月8日に港区医師会整形外科医会と共催で「これからの健康寿命を考える」をテーマに公開市民講座を開催いたしました。社会の高齢化に伴い骨粗鬆症、ロコモティブシンドローム、変形性関節症などが原因の骨折、腰痛、関節痛によって日常生活に支障を来し支援や介護が必要となる方が急増しています。こうした健康寿命を損ねる病気や怪我に対し、運動を含めた正しい予防法から最先端の手術まで3時間にわたり専門家による講演があり、約200名の方々に出席を頂きました。今後も継続して開催をする予定でありますので、奮ってのご参加をお待ちしております。



▲講演会の様子



▲ロコモ体操の様子

## 行事予定

### ■生活習慣病教室(無料)

開催日 平成26年5月10日(土)  
時間 午前10時00分～午前11時30分  
場所 3階セミナー室  
申込方法 TEL 03-5791-6146  
(予防医学センター)

### ■看護の日イベント(無料)

開催日 平成26年5月12日(月)  
時間 午前9時30分～午後4時00分  
場所 1階正面玄関ホール  
内容 師長・専門認定看護師による各種相談受付、アロママッサージ、看護の日グッズ配布

### ■肝臓病教室(無料)

開催日 平成26年5月17日(土)  
時間 午後1時00分～午後3時00分  
場所 4階A会議室  
申込方法 TEL 03-5791-6345(予約センター)

### ■リビングウィルセミナー(有料)

開催日 平成26年6月7日(土)  
時間 午前10時00分～午後12時00分  
場所 東洋医学総合研究所2階A会議室  
受講料 2,000円(税抜)  
定員 20名  
申込方法 TEL 03-5791-6345(予約センター)

### ■がんについて語るつどい(無料)

テーマ 「人間のからだの免疫のしくみとは?」  
開催日 平成26年6月14日(土)  
時間 午前10時00分～午前11時30分  
場所 4階AB会議室  
定員 15名  
対象 当院を受診されているがん患者さまとご家族  
申込方法 TEL 03-5791-6345(予約センター)

### ■眼瞼下垂セミナー(無料)

開催日 平成26年6月23日(月)  
時間 午前10時00分～午前11時30分  
場所 4階AB会議室  
定員 30名  
申込方法 TEL 03-5791-6148(美容医学)

### ■ロコモ教室(有料)

開催日 平成26年6月30日(月)  
時間 午後2時00分～午後3時30分  
場所 4階AB会議室  
受講料 1,000円(税抜)  
申込方法 TEL 03-5791-6345(予約センター)

### ■第2回乳がんセミナー(予定)

開催日 平成26年6月7日(土)  
※詳細は病院ホームページ等で掲載予定

## 退職・異動医師紹介

平成26年3月31日付

外科	山田 好則
外科	平田 雄紀
腎臓内分泌代謝内科	山田 善史
形成・美容外科	柴田 知義
婦人科	片岡 典子
婦人科	堀場 裕子
病理診断科	末盛 友浩
総合内科	田畑 尚吾
総合内科	堂園 隼人
総合内科	三宅 麗
総合内科	児玉 華子
整形外科	野村 文彦
整形外科	塚原 由佳
皮膚科	森下 加奈子
前期研修医	寒河江 ひとみ
前期研修医	小田 友理子

## 編集後記

5月といえば「五月晴れ」と形容される程、1年のうちで季節が良く過ごしやすい時期ですね。初夏の陽気が清々しく感じられる頃、「五月病」という言葉を耳にしたことはありませんか? 正式な医学用語ではないため、きちんとした定義はありませんが、医学的には「適応障害」と診断されるそうです。環境の変化によって、新しい場所に適応できない事などが要因で、やる気が出ないなどの症状があらわれるそうです。対策としては、気分転換をし、ストレスをためないよう心がけるのが良いそうです。これからの季節、ピクニックや散歩で気分転換をして、晴れ晴れとした空のようにさわやかな気持ちで楽しい毎日をご過ごしたいですね。(熊倉)